

登熟期仕上げの水管理チェックポイント

- 落水が早過ぎると、腹白・乳白粒が増加し、収量が低下します。
- 必要に応じて“走り水”をして、落水後も適切な土壌水分を維持しましょう。

“仕上げの水管理” 三箇条

- 一 出穂が始まったら浅水管理
(または溝切りと間断かんがい／走り水)
- 二 地耐力確保の地固めは原則
(表面に、わずかに足跡が付く固さ)
- 三 落水は穂かがみ期
(出穂後25日目頃 以降)

溝切りと
間断かんがい



水田表面の大亀裂・干ばつ(倒伏)の防止



大亀裂

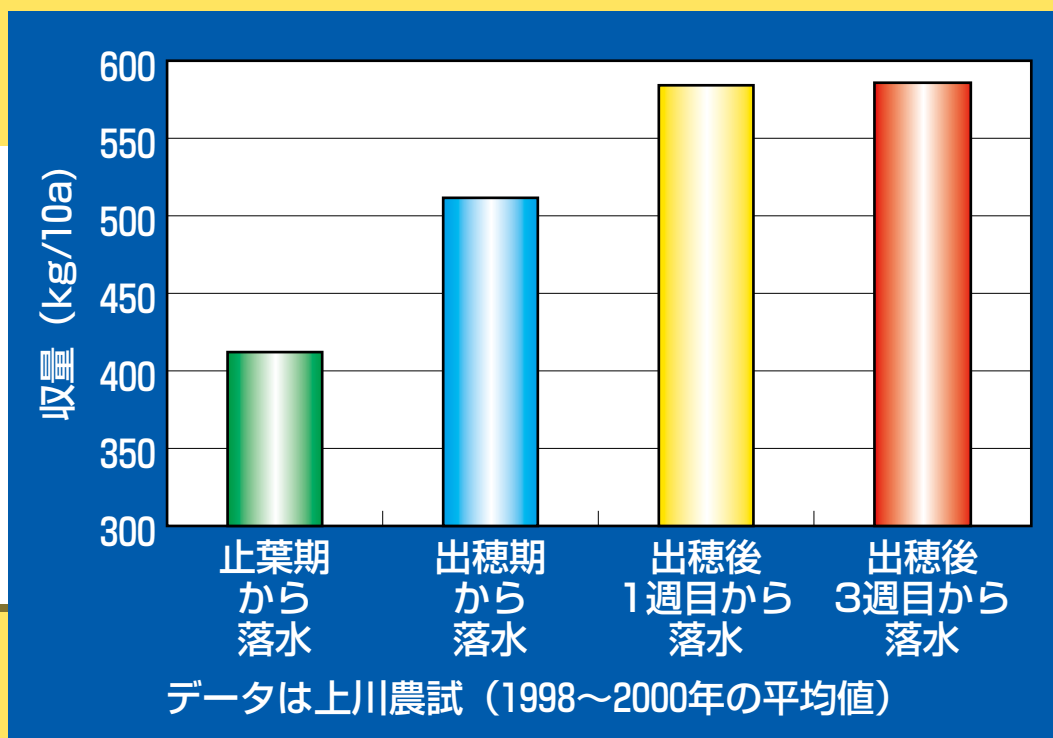


干ばつ(倒伏)

品質低下
腹白・乳白粒
の増加



減
収



登熟初中期に、昼夜とも高温条件が続く場合の技術対策

かんがい水の掛け流しを行い、稲体周辺の気温を下げ、
玄米品質の低下を防ぎましょう